



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 ベリテ
 コード番号 9904 URL <https://www.verite.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマール
 (氏名) 米畑 博文 TEL 045-415-8821

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,022	△22.2	311	2.6	306	4.2	102	△62.3
2020年3月期第2四半期	3,883	△0.5	303	8.0	294	8.4	271	8.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	3.77	—
2020年3月期第2四半期	9.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	7,716	—	5,343	—	69.2	196.92
2020年3月期	7,837	—	5,240	—	66.9	193.12

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 5,343百万円 2020年3月期 5,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	9.97	0.00	9.97	0.00	19.94
2021年3月期	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	8.56	8.56	17.12

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,526	△4.4	536	△12.3	519	△13.2	509	9.7	18.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	27,230,825 株	2020年3月期	27,330,825 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	96,252 株	2020年3月期	96,172 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	27,134,640 株	2020年3月期2Q	27,204,693 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。(https://www.verite.jp/aboutus/irinfo.html)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大とそれに対応する緊急事態宣言の発令により社会・経済活動が大きく制限され、緩やかな回復傾向から一変して、景気が急速に悪化する厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は経済活動の再開が見られるものの、感染拡大の収束見通しも立っておらず、景気の先行きは依然として極めて不透明な状況が続いております。

このような経営環境下において、当社といたしましては、コーポレート・ビジョンである「Diversity with Brilliance」を引き続き忠実に推進し、ジュエリーチェーンのパイオニアとしての豊富な実績を基に、お客様にご満足いただける質の高い接客技術の向上、顧客ニーズにあった魅力的な商品開発力の強化、粗利率の改善などへの積極的な取組みにより、いかなる環境の変化にも対応できる強固な事業基盤の構築に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,022百万円(前年同四半期比22.2%減)、営業利益は311百万円(前年同四半期比2.6%増)、経常利益は306百万円(前年同四半期比4.2%増)、四半期純利益は102百万円(前年同四半期比62.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、7,716百万円となり、前事業年度末と比べ121百万円減少いたしました。これは主に、売上債権等の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,372百万円となり、前事業年度末と比べ224百万円減少いたしました。これは主に、未払金等の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、5,343百万円となり、前事業年度末と比べ103百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.2%(前事業年度末は66.9%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比べ19百万円減少いたしました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は129百万円(前年同四半期は資金の増加44百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は144百万円(前年同四半期は資金の減少46百万円)となりました。これは主に、固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は3百万円(前年同四半期は資金の減少274百万円)となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今回の業績予想においては、新型コロナウイルス感染症に関し、依然として収束時期は見通せない状況ではあるものの、今後感染拡大による緊急事態宣言発令等経済活動に著しく悪影響を及ぼす状況が生じることは想定しておらず、緩やかに収束に向かうと仮定しております。

第2四半期累計期間につきましては、臨時休業や外出自粛の影響があり、第1四半期の時点で前年実績との差異が大きく出ておりました。第2四半期に入ってから既存店ベース及び全店ベースで売上高・客単価ともに前年を上回る水準に回復しており、第3四半期以降も同様の傾向を予想しております。2021年3月末店舗数は、ベリテ71店舗(前事業年度末比1店舗増)、マハラジャ・ダイヤモンド3店舗、MiMiKaZaRi 1店舗、Velicia15店舗を予定しております。

以上を踏まえ、当事業年度(2021年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高7,526百万円(前年同四半期比4.4%減)、売上高総利益率59.0%(前年同四半期比0.1ポイント低下)、販売管理費比率51.8%を予定し、営業利益536百万円(前年同四半期比12.3.%減)、経常利益519百万円(前年同四半期比13.2%減)、当期純利益509百万円(前年同四半期比9.7%増)を予想しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化等により、大きな変動が見込まれる場合は、速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,215	2,196
受取手形及び売掛金	790	602
商品	3,059	3,165
貯蔵品	108	109
その他	309	302
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,483	6,377
固定資産		
有形固定資産	439	423
無形固定資産	75	68
投資その他の資産		
敷金及び保証金	583	591
破産更生債権等	835	38
その他	256	255
貸倒引当金	△835	△38
投資その他の資産合計	839	847
固定資産合計	1,354	1,339
資産合計	7,837	7,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874	872
短期借入金	1,100	1,100
未払法人税等	40	20
返品調整引当金	1	0
ポイント引当金	33	27
その他	505	314
流動負債合計	2,555	2,335
固定負債		
その他	41	36
固定負債合計	41	36
負債合計	2,597	2,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,703	4,703
利益剰余金	465	567
自己株式	△25	△25
株主資本合計	5,242	5,344
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
評価・換算差額等合計	△2	△1
純資産合計	5,240	5,343
負債純資産合計	7,837	7,716

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,883	3,022
売上原価	1,576	1,247
売上総利益	2,306	1,775
販売費及び一般管理費	2,003	1,464
営業利益	303	311
営業外収益		
受取配当金	0	0
その他	3	3
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
支払利息	3	3
支払手数料	5	4
その他	2	1
営業外費用合計	12	8
経常利益	294	306
特別利益		
助成金収入	—	106
特別利益合計	—	106
特別損失		
臨時休業等関連損失	—	290
特別損失合計	—	290
税引前四半期純利益	294	122
法人税、住民税及び事業税	23	20
法人税等合計	23	20
四半期純利益	271	102

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	294	122
減価償却費	34	34
臨時休業関連特別損失	—	290
助成金収入	—	△106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△797
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2	△5
為替差損益 (△は益)	0	△0
支払手数料	5	4
支払利息	3	3
売上債権の増減額 (△は増加)	235	188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△188	△106
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83	△2
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	797
その他	△188	△63
小計	109	357
支払手数料の支払額	△5	△8
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△54	△40
法人税等の還付額	0	0
臨時休業等に関する支出額	—	△281
助成金の受取額	—	106
その他	△1	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	44	129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△11
定期預金の払戻による収入	11	11
有形固定資産の取得による支出	△31	△65
無形固定資産の取得による支出	—	△70
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△8
敷金及び保証金の回収による収入	8	0
その他	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△271	△3
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△276	△19
現金及び現金同等物の期首残高	2,418	2,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,141	2,185

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。